

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



東海道 五十三次  
 興津 おきつ



興津は清見湯を望む風光明媚な地として知られてきた。古くは興津が置かれた軍事交通の要衝であり、明治以降は元勳たちの別荘地であった。長い歴史を刻んできたこの海辺も、いまではすっかり変貌している。

いま興津宿は園遊号線沿いの、少々殺風景な場所にはなっている。このままなか名刹清見寺だけは、威厳ある姿を保てる。清見寺は清見湯を見下ろす風光明媚な高台に立つ寺院で「東海名区」となわれた。山明と境内の間を鉄道に分断されてしまっているが、

なま泰然有若としてかえり湯みがある。合羽氏の人質にならうに徳川家康が学問をしたといふ家康の手習いの間や家康が搭木した臥龍橋などがある。



名物  
 万能膏、ろくろ、蕎麦、興津鯛  
 点  
 「点」ともが夢の跡一興津は明治初期には西園寺の望井上馨ら政府要人の高級別荘地であった。

この時期が興津の全盛期で、洋風建築、洋食店などが立ち並び保養客でにぎわったという。